

令和5年生駒市教育委員会第3回定例会会議録

1 日 時 令和5年3月23日(木) 午前9時30分～10時44分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 審査事項

- (1) 議案第13号 生駒市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 議案第14号 生駒市教育委員会の所管に係る生駒市個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則の制定について
- (3) 議案第15号 生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- (4) 議案第10号 令和5年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について
- (5) 議案第16号 生駒市教育委員会委員の辞職の同意について
- (6) 議案第17号 生駒市教育委員会事務局職員等の任免について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	神 澤 創
委員	坪 井 美 佐	委員	レイノルズあい
委員	伊 藤 智 子	委員	古 島 尚 弥
委員	中 川 義 三	委員	吉 尾 典 子

5 事務局職員出席者

教育こども部長	奥 田 吉 伸	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	坂 谷 操	教育総務課長	山 本 英 樹
教育総務課課長	松 本 芳 樹	教育指導課長	前 田 伸 行
幼保こども園課長	松 田 悟	幼保こども園課指導主事	喜 多 美 枝 子
幼保こども園課指導主事	湯 川 祐 美 子	こども総務課長	武 元 一 真
子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	西 野 貴 子	図書館課課長	錦 好 見
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	石 田 昌 代
教育指導課課長補佐	花 山 浩 一	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	福 山 清 美	こどもサポートセンター所長	若 狹 美 登 里
生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎	生駒駅前図書室長	入 井 知 子
教育総務課(書記)	佐 竹 裕 介	教育総務課(書記)	吉 川 優 香

6 傍聴者 0名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

○日程第3 議案第13号 生駒市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について

・生駒市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1、資料1>

(質疑)なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第4 議案第14号 生駒市教育委員会の所管に係る生駒市個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則の制定について

・生駒市教育委員会の所管に係る生駒市個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則の制定について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p2、資料2、資料3>

(質疑)

飯島委員：この規則は一般的に使われているフォーマットによるものか、それとも生駒市独自の項目等が盛り込まれているのか。

山本課長：国の法令に基づき生駒市が作成しており、生駒市教育委員会もそれに準じて規則を作成している。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第5 議案第15号 生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

・生駒市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p3～4、資料4>

(質疑)なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 議案第10号 令和5年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について

・令和5年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について、奥田教育こども部長から説明

<参照：議案書p5、別冊1>

(質疑)

飯島委員：非常に数値化しづらいと思うが、調製により深まりや進行が非常に見やすくなった。引き続き大綱やアクションプランの作成、評価に関わっていくと思うが、数値化や項目として記述することで、目標が実現できたのかを読み取れるような形で今後とも配慮いただきたい。

中川委員：数値等が入って進行状況が大変よくわかるようになった。例えば19ページ「社会の開かれた学校教育推進事業」では、各年度の目標値・実績値に加え、その年に重点化したことの記載があり分かりやすい。今後の計画でもこのような形で書いてもらえれば、達成出来たかどうか分かりやすい。今後でも簡単で良いので数字と言葉の両方が各年度に記載できれば1番良い。大変だと思うが、分かりやすい形で示していただきたい。

吉尾委員：64の事業を事務局でこれから1年遂行していくということは、本当に大変だと思う。数値化している部分もあり、このアクションプランは、学校、園、生涯学習施設等にも委ねていかなければならない。また、評価をして来年に繋げる必要もある。数字だけが全てではなく、現場の声や成果を実際に感じられることが、意欲に繋がっていくと思っている。また、1年後に評価分析をした際に、事業の見直しも必要になるだろう。もちろんやって良かったという評価も大事だが、反省も必要だ。事業が増えるだけでは中身が薄くなってしまう懸念もあるので、客観的な分析に基づいて精査していくことも一つ念頭においてもらいたい。この目標で1年間生駒市の子ども達や生駒市民が教育は大事だなと思ってもらえるような内容になっていくことを心から望んでいる。

伊藤委員：色々工夫していただき、本当に分かりやすいものになった。2点修正をお願いしたい。2ページ「地域で支えあう子育ての推進」について、現状値が「件」に対し、目標値が「回」になっている。また、11ページ「Google認定教育者資格取得支援事業」について、現状値が「名」に対し、目標値が「人」になっている。どちらかに統一してはどうか。

原井教育長：ご指摘の件について、担当課はどうか。

奥田部長：事務局で考えを整理しどちらかに統一したい。また、1点落丁があった。28ページの「体育施設整備事業」の項目で令和5年度が一番上に「総合公園体育館トイレ洋式等改修」となっているが、令和5年度は、「市民体育館と総合公園体育館のトイレ洋式化等改修」になるので、「市民体育館及び」を記入してもらいたい。

レイノルズ委員：数値目標が入って非常に分かりやすくなった。23ページの講師不足のアクションについて、前回定例会で質問をさせてもらい、枚方のシェアハウスの事例についてホームページ等で拝見した。同じ境遇を持つ先生方が今の状況を共有されるというだけでも非常に支えになって良い場所だと思うので、生駒市でもこの取り組みが実現できればと願っている。アクションプランに記載されている内容以外にも、プラスαの新しい案も生まれてくることだと思う。私達教育委員としても、一つ一つの事業に対して更に出来ることがあればその都度提案できればと思っている。「教師不足対策」に関して興味深いと思ったのが、最近公表されていた「なりたい職業ランキング」で1位が会社員であることが話題になったが、教員についてもトップ10に入っている。中学生の男子で7位、女子で4位、高校生でも男女共に4位に入っており、子ども達になりたい職業に感じてくれている。だが実際には教員は、継続するのが難しい状況ではないかと思う。なりたいと思っている子ども達にそのまま先生を目指してもらおうきっかけ作りも大事だと思う。そういった点において何かできるのではないかと思っている。これはまた別の課題だと思うので、別途話ができればと思っている。

古島委員：レイノルズ委員が言った講師不足対策については、私も同意している。枚方で取り組んでいる先生のシェアハウスについては、知り合いの先生がシェアハウスをしているので、何か情報提供できたら良いと思っている。また、「なりたい職業ランキング」については私も見た。私は教育実習を経験しているが、実習の時点ですでに就職先が決まっている学生や、一般社会を経験してから教師になるか考えるという学生がいた。教育実習を経て、やはり先生は大変だと感じる学生も多くいるかと思う。生駒で働いている先生が生き生きと働いている様子を、発信できるような場があればと思う。生き生きと働いている先生の紹介等をSNSの発信も含めてやっていけたら、生駒で働いたら面白そうだと思うてもらえるのではないかと思う。また何かそういうことをやりたいと思っている。一つ質問で、新規事業の資料11ページの「Google認定教育者資格取得支援事業」、今回の新規事業の中で目標値としては、試験対策講座を実施してその参加者が20人という目標になっている。今回はこれで良いとは思いますが、生駒市の先生方がこの資格を取得していく事も最終的には目標値として必要なのではないかと思っていて、講座を実施し、参加してもらって、最終的に資格の取得を目指すことになるのではないか。そのあたりの展望や、最終的な資格取得の支援や、生駒市の教育委員会として資格を取得する先生を増やしていくというような方向性になっていくと思うが今後のイメージを聞かせてほしい。

日高室長：今回初めて、「Google認定教育者資格取得支援事業」を令和5年度に予算化した。これについては2日間の集中講座を教員向けに実施するセミナー開催の負担金という形で予算化をしている。これは、最大20人の教師

が、そのセミナーに参加してもらえる体制を取ったという現状だ。最終的にはもちろん資格を取ってもらって、今の G o o g l e のアプリケーションやコンテンツを自由自在に使える先生を増やしていくということが目標になる。まず令和5年度については、参加する先生を集めるという目標にしている。講師不足の件で追加だが、今回、シェアハウスだけでなく、就労相談会というものも実施している。今年度の2月22日から3月3日まで実施しており、最終55名に参加してもらった。その中で早速マッチングを行っていて、常勤の講師で2名、そして非常勤で1名、特別支援の支援員で6名、スクールサポートスタッフで2名、通級指導の補助講師2名の就労が既に決定をしている。このような相談会は、通常雇用主である都道府県単位の実施が多いが、まず市で実施したという成果があったという点、生駒市の広報紙をうまく活用できたという点、そして一人一人に寄り添ったカウンセリングを行ったという点で、実現できたと思っている。細かいことを、丁寧にやっていった結果だと思っており理解いただきたい。

原井教育長：明日の議会で承認される予定だが、今年度は講師の配置やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の予算要求をしており、先生方を側面的に新規事業や関係機関が支えながら、生駒で教員をしたい方々が増加していくことを進めていきたいと考えている。

伊藤委員：これから項目を増やすことが難しいのは承知しているが、来年の参考にしてほしい。今年度は「すぐーる」の導入により、学校との繋がりがすごく近くなったと保護者として一番感じた。逆に保護者が学校と繋がっているのは、「すぐーる」しかないというような状態に近くなっているところもあり、この変化が非常に大きかった。また、将来的に継続してもらえるか分からないが、原井教育長が「教育長だより」を毎回コンスタントに作成していることも保護者にとっては非常に学校と近くなったと感じる。その「すぐーる」と、「すぐーる」を通じた教育長の情報提供が、保護者目線では今年度の大きい変化であった。アクションプランに書かれていることは、それほど一般の保護者に見えていることではないので、逆に非常に大きく見えたすぐーるのことがここに書かれていないのが不思議だ。保護者に一番見えている「すぐーる」を、このアクションプランにも書いてもらったらどうかと考えている。また、「すぐーる」という一種の新しい道具を得たので、これも今後さらに弾力的に活用できるか考えてもらえれば嬉しい。今後の参考にしてほしい。

原井教育長：各学校でも、学校だよりやツイッター等で情報発信を積極的に行ってもらっており、そういうことがないと学校の様子が保護者には伝わらない。職員や学校で取り組んでいることをどのようにして届けたら良いのかについては、教育委員会としても私自身も非常に課題意識を持って取り組んでいる。

吉尾委員：16ページの新規事業「自校式通級指導教室推進事業」の概要を詳しく教えてほしい。

前田 課長：「自校式通級指導教室推進事業」については、来年度から県の講師の先生方が各学校へ巡回指導に回ることになる。今までの通級指導教室は、学校によっては児童が自分の学校から他の学校へ通って通級指導を受けに行っていたが、全ての学校が今後自分の学校で通級指導を行う体制になる。巡回指導時に各学校の主に特別支援学級の先生と一緒に週1日1回入ってもらって、通級指導と一緒にカンファレンスを行ったり、通級指導を行っているスキルを見てもらって研修を行うことを考えている。そして各学校でも通級指導が行っていきけるスキルを高めていきたい。その際に特別支援学級の先生が週1回通級指導に入ると、そのときに特別支援学級に先生がいなくなるので、補習の講師を市独自で雇用する為に予算化させてもらった。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第7 その他

・令和5年4月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明（質疑）

伊藤 委員：24日の教育委員会について、コミュニティセンターではないか。

山本 課長：その通りである。訂正したい。

≪ 坪井委員 退席 ≫

○日程第8 議案第16号 生駒市教育委員会委員の辞職の同意について

・生駒市教育委員会委員の辞職の同意について、原井教育長から説明

<参照：議案書（追加日程）>

（質疑）なし

審議結果 【原案のとおり可決】

≪ 坪井委員 着席 ≫

≪ 坪井委員 退任挨拶 ≫

≪ 暫時休憩・職員及び傍聴者退室 ≫

○日程第9 議案第17号 生駒市教育委員会事務局職員等の任免について

・生駒市教育委員会事務局職員等の任免について、奥田教育こども部長から説明

<参照：議案書（追加日程）>

（質疑）

≪ 個人情報を含むため、質疑内容は非公開 ≫

審議結果 【原案のとおり可決】

○その他

- ・令和4年度における教諭の事故事案について、山本教育総務課長から説明
 << 個人情報を含むため、質疑内容は非公開 >>

○閉会宣告

10時44分 閉会